

本フォローアップ会の趣旨目的

国土交通省 総合政策局
物流政策課
令和3年6月3日

1. 政府提言における記載

● 次期総合物流施策大綱（令和3年6月閣議決定予定）

「提言①：物流DXや物流標準化の推進によるサプライチェーン全体の徹底した最適化
（簡素で滑らかな物流の実現）」

（3）物流標準化の取組の加速

②加工食品分野における標準化・商慣習改革のための推進体制の整備と周辺分野への展開

加工食品分野においては、2020年3月、官民連携の協議会が物流標準化のアクションプランを策定し、納品伝票、外装表示、パレット・外装サイズ、コード体系・物流用語の4項目における標準化の必要性を確認するとともに、推進の方向性を取りまとめたところである。現在、このアクションプランの実現に向けて、伝票の標準化・電子化の動きや、外装サイズ標準化のためのガイドライン策定を目指す民間主体の協議会の開催等の取組が進んでいる。これらの取組がサプライチェーン全体の動きに発展し、物流標準化推進の一つのプロトタイプとなるよう、引き続き官民連携して不断に推進していく。

この物流標準化の推進に際しては、附帯作業や荷待ち時間の削減、リードタイムの延長、環境負荷要因ともなる荷受け時の過度な外装不良基準の緩和等の商慣習についても一体的に解消し、標準化による効果が物流の現場に帰することを旨として、川上から川下までの幅広い関係者と行政が参画する体制を構築する。

加工食品分野での標準化をフォローアップする過程では、取り扱う製品・商品の特性や商慣習に近い他の業種分野に向けてもこの動きを周知し、取組の横展開や連携を図る。

● 成長戦略フォローアップ（令和2年7月17日閣議決定）

「5. モビリティ」

（2）新たに講ずべき具体的施策

vi) 陸海空の様々なモビリティの推進、物流改革

②陸における様々なモビリティの推進・物流改革

業界内及び業種横断的な物流標準化に向けて、加工食品分野における物流標準化アクションプラン及び他業種に広げるための取組を推進する。さらに、サプライチェーン全体での物流・商流データ基盤構築を目指して、2020年度中に社会実装に向けたビジネスモデルの構築等を行うとともに、IoT・AI等により省人化等を行う物流設備・機器等の導入を促進する。

2. 当会の位置づけ(イメージ)

総合物流施策大綱

物流にかかる規格の標準化

官民物流標準化懇談会

議題 : ハード・ソフト含むすべての物流各項目（パレット・外装サイズ、外装表示、納品伝票、コード体系・物流用語等）の規格にかかる標準化

進め方 : 特定の標準化項目（例：パレット規格等）を取り上げて、実行に結び付く標準化の方向性（標準規格／民間・行政での具体的な推進手法等）について議論・検討

構成員 : 行政、物流団体、主要物流事業者、学識経験者、経済団体、荷主系団体等

検討結果の業界への共有

先例としての知見の提供

業種分野ごとの物流標準化の取組

・ハード・ソフト含むすべての物流各項目（パレット・外装サイズ、外装表示、納品伝票、コード体系・物流用語等）の規格にかかる標準化

加工食品分野における物流標準化アクションプラン（フォローアップ会）

〇〇分野における物流標準化取組

標準化による更なる生産性向上・労働時間改善

商慣習等見直しによる標準化推進

トラックドライバーの働き方改革

- ◆ ホワイト物流推進運動
- ◆ 標準貨物自動車運送約款等の改正 等

業種分野ごとの生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会

- ・受発注条件の見直し
- ・荷待ち時間の削減
- ・荷役時間の削減
- ・附带作業時間の削減 等

加工食品物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会

酒・飲料

建設資材物流における…懇談会

紙・パルプ物流における…懇談会

◆ SIPスマート物流サービス
物流・商流データ基盤を活用したデータ連携・標準化による物流効率化

基盤の利活用を通じた物流情報の標準化

先例としての知見の提供

自動化・機械化の取組の推進

高度物流人材の育成・確保

...